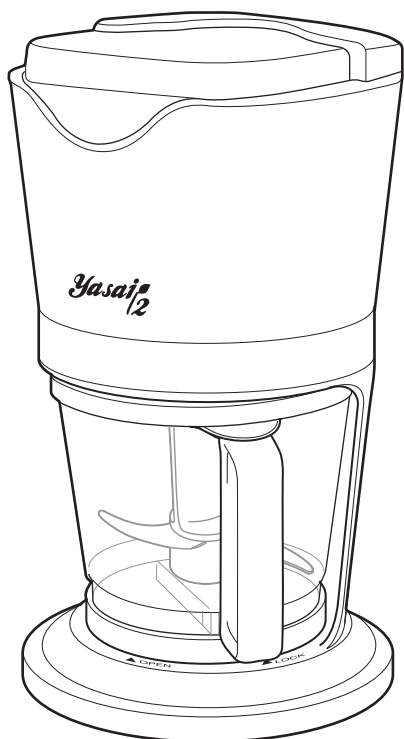


取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあと、もいつでも見られるように大切に保存してください。

も く じ

安全上のご注意	P. 2～3
各部の名称とはたらき	P. 4
正しい使いかた	P. 5～8
お手入れと保存	P. 9～10
修理・サービスを依頼する前に	P. 11
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙



仕 様

型 名	DYM-17WH
電 源	AC100V
定格消費電力	70W 50/60 Hz
定格時間	1分
定格容量	180ml
外形寸法	約 幅145×奥行155×高さ244mm(クリアカップ取付時。電源コードを除く)
質 量	約 1.26kg
電源コード長さ	約 1.2 m
安全装置	クリアカップ検知センサー、サーモスタット
付属品	ブレード×1、フタ×1、クリアカップ×1、おそうじブラシ×1、レシピ×1、取扱説明書・保証書×1・ブレードカバー(ブレードに取付済)



- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)





図記号の意味と例

	○は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、○の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)



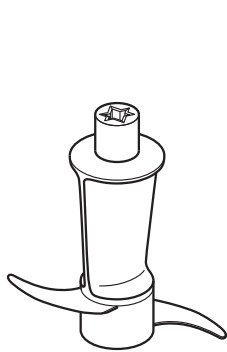
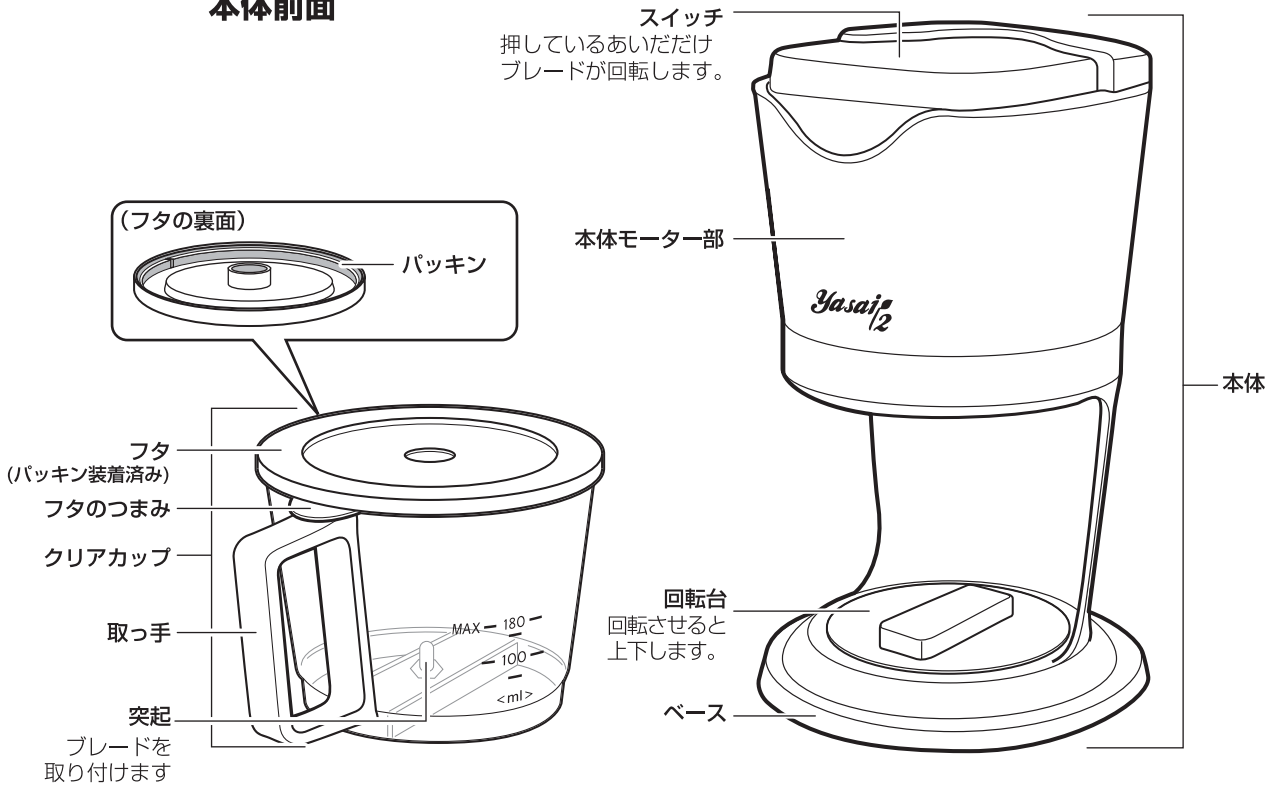
 禁止	交流 100 V以外では使用しない。 感電や火災の原因になります。	 指示	配線器具の定格を超える使いかた、複数の配線を接続したタコ足配線で使用しない。 コンセント部が異常発熱して発火するおそれがあります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 感電や発熱・火災の原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着しているときはふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 プラグを抜く	使用後は電源プラグをコンセントから抜く。 火災や故障の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・やけど・感電の原因になります。		お手入れのときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 接触禁止	ブレードの刃部分には直接ふれない。 けがの原因になります。
	運転中に本体からクリアカップをはずしたり、移動させたりしない。 けが、故障の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 感電・火災・けがの原因になります。修理は販売店またはお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。
 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
不安定なところでは使用はしない。 けが・故障の原因になります。	 水ぬれ禁止	本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。水洗いしない。 ショート・感電の原因になります。	
 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。また、電源プラグの抜き差しで運転の開始・停止を行わない。 感電・ショート・発火の原因になります。		



 指示	<p>電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電・ショートの原因になることがあります。</p>	 禁止	<p>業務用に使用しない。調理目的以外の使いかたはしない。 家庭用として設計されているため、業務用としては使用しない。</p>
	<p>食材は固形物2cm角以下にする。 これより大きいと十分な調理ができず、ブレードが停止したり大きな音の発生の原因になります。</p>		<p>食材以外をクリアカップに入れない。 けが・故障の原因になります。</p>
	<p>取り出したブレードは、取り扱いに十分気をつける。 鋭利で危険なため、けがの原因になります。</p>		<p>お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。</p>
	<p>調理したものを取り出すときには、スプーンやヘラなどを使用する。 指など入れるとけがの原因になります。</p>		<p>クリアカップ・ブレード・フタを電子レンジに入れない。 変色・変形・故障の原因になります。</p>
	<p>調理する水分に十分注意して運転する。 容量が最大(180ml)を超えないようにする、極端に少ない食材で使用しない。</p>		<p>1分以上の連続運転をしない。 モーターの故障の原因になります。 1分使用したら5分休ませる。</p>
 禁止	<p>直射日光が当たる場所、火や熱源の近くでは使用しない。 変形・故障の原因になります。</p>	 禁止	<p>定格時間の繰り返し動作を5回以上行なわない。 1分使用で5分休ませた場合でも5回以上は連続で使用しない。 サーモスタットが作動し動作が停止します。</p>
	<p>変形や破損のあるときは、使用しない。 感電・火災・やけどの原因になります。</p>		<p>粘り気が多い食材や固い食材などを調理しない。 故障の原因になります。</p>
	<p>電源コードが引っ張られた状態で使用しない。 断線などをおこし、火災・感電・やけどの原因になります。</p>		<p>空転しない。極端に少ない食材で使用しない。 ブレードの底部が焼き付き、故障の原因になります。</p>
	<p>電源コードを束ねたまま使用しない。 火災の原因になります。</p>		<p>食材が多すぎたり、そのほかの原因で回転が止まったときは、そのままの状態で使用しない。 本書の正しい使い方を確認してください。 けが・故障の原因になります。</p>
	<p>不安定な場所や傾いた場所、高い場所、子供やペットの走り回る場所には置かない、使わない。 転倒して外部に調理物がこぼれるだけでなく、感電・故障・火災・やけどの原因になります。</p>		<p>40℃以上のお湯で洗わない。食器洗浄乾燥器を使用しない。 変形・変色・破損の原因になります。</p>

各部の名称とはたらき

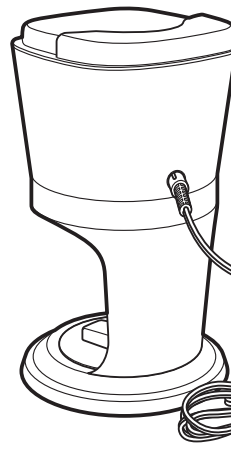
本体前面



ブレード
(クリアカップ内に
ブレードカバーと一緒に取付済)



おそうじブラシ



本体後面

電源コード

電源プラグ

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体.....	1 個	レシピ.....	1 冊
クリアカップ.....	1 個	ブレードカバー (ブレードに取付済).....	1 個
ブレード.....	1 個	取扱説明書 (保証書含む).....	1 冊
フタ.....	1 枚		
おそうじブラシ.....	1 本		

正しい使いかた

初めて使用するときは

- ・梱包部品一覧（4ページ下）から、すべて揃っていることを確認してください。
- ・本体以外のフタやクリアカップ、ブレードなどを十分に洗ってください。（9、10ページの「お手入れと保存」に従って行ってください。）

使用前の準備

1. 本体を水平な場所に設置する

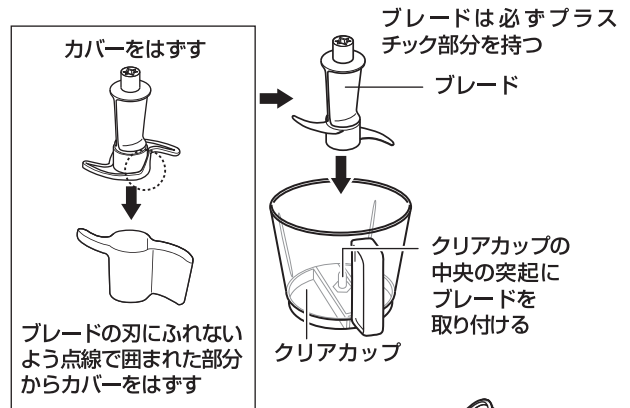
安定した水平な場所に設置してください。モーターでブレードを回転させることから、少なからず振動が起こるため、動きに強い安定したテーブルなどの上に設置してください。



- ・水平で安定した場所で使用する。
- ・火気の近くや、水気の多いところでは使用しない。
- ・子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しない。

2. クリアカップにブレードを取り付ける

ブレードからカバーを取りはずし、ブレードをクリアカップに取り付けます。



- ・ブレードの刃部分には直接手でふれない。
- ・すでに食材が入ったクリアカップにはブレードを取り付けない。ブレードとクリアカップのあいだに食材がはさまり、故障の原因になります。

3. クリアカップに食材を入れる

クリアカップに液体を入れたうえで食材を入れてください。固形物は2cm角以下に切り、クリアカップに入れてください。

- ・液体はMAXラインを超えないようにしてください。
- ・ブレード先端部（本体との接続部）に食材が入らないようにご注意ください。
- ・調理禁止食材を入れないでください（調理禁止食材→6ページに掲載）。



食材を入れるときは、適切な量を入れる。食材の量が多すぎるとブレードが回らなかったり、大きな音が出て、故障や事故の原因になります。食材がブレードにまったく触れないほどの量では、十分に調理できないことがあります。

液体はクリアカップに記載されているMAXラインを超えないようにする

正しい使いかた（つづき）

調理禁止食材

かたいもの	・ 氷・冷凍のままのもの	ブレードやモーターに負担をかけ、故障の原因となります。
粘度の高いもの	・ 納豆・アロエ・じねんじょ ・ 長芋などの芋系 ・ 小麦粉などの粘りが出るものなど	モーターに負担をかけ、故障の原因となります。
温度の高いもの	・ 40℃以上になった食材や液体	調理物が吹き出したり、ブレードやフタ、本体をいためます。
肉類 魚類		ブレードやモーターに負担をかけ、故障の原因となります。

※食品以外のものはクリアカップ内に絶対に入れないでください。

食材の準備のしかた

玉ねぎ、人参などの野菜 2cm角以下に切ってから、クリアカップに入れます。

葉物（パセリなど） 水分を拭き取って、軸を取り2cm以下に切ってから、クリアカップに入れます。

4. クリアカップにフタを取り付ける

フタの穴に、ブレードの先端部を通し、フタのつまみを取っ手に合わせて取り付けます。

- ・ フタをきちんと取り付けないと、安全装置はたらず、動作が開始しません。
- ・ 固形物が多く、取り付けしにくいときは、食材の配置や内容量を減らしたり、食材の大きさを小さくすることで調整します。
- ・ フタにパッキンが付いていることを必ず確認してください。



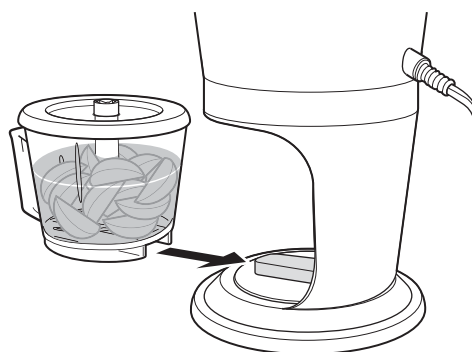
⚠️ 注意

- ・ 空転しない。極端に少ない食材で使用しない。
- ・ 水分を必ず入れる。
ブレードの底部が焼き付き、故障の原因になります。
- ・ フタは密閉ではありません。
傾けたり、さかさまにすると、内容物がこぼれる原因になります。

5. 4のクリアカップを本体の奥まで入れる

2～4で準備した食材の入ったクリアカップを、本体の回転台に合わせて取り付けます。

- ・ フタやブレードと本体の接合部に食材や水分が付着していないか確認します。
- ・ クリアカップ底部の凹みと、回転台の凸部を合わせて奥まで入れます。
- ・ クリアカップを回転台に入れるときは、傾けずに水平に入れてください。傾けて入れると引っ掛かってしまい、故障の原因となります。



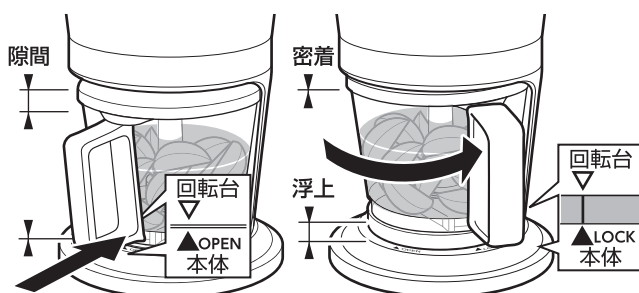
⚠️ 注意

フタのつまみとクリアカップの取っ手の向きを合わせて、しっかりと取り付けられていることを確認する。
本体に入れる際、引っ掛かり、故障の原因となります。

正しい使いかた (つづき)

6. 奥まで入れたクリアカップを取っ手をもって右に回す

回転台の手前の▽が本体の▲OPENの印に合っていることを確認してから、回転台の手前の▽が本体の▲LOCKの印に確実に合うように右に回しきってください。



クリアカップ取っ手を右に回すと、回転台によりフタが本体と密着します。

⚠️ 注意

クリアカップを取り付けるときは、クリアカップを回転台から浮かさず、下の回転台にしっかりと合わせて回転させる。
クリアカップだけ回転台から浮かせて回してしまうと、うまくはすれなくなることがあります。
確実に▲LOCKの印が合うように右に回しきってください。
途中でスイッチを押して運転すると故障の原因となります。

右に回すことにより、クリアカップ位置が高くなり、本体モーター部とブレードと本体の接合部が密着します。

7. 電源プラグをコンセントに差し込む

⚠️ 警告

- 電源コードを束ねたまま使用しない。電源コードの発熱、発火の原因となります。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない。

8. スイッチを押して調理を開始する

⚠️ 注意

1分以上連続運転をしない。
1分の連続運転のあとは、必ず5分以上休ませてください。

スイッチを押している間だけブレードが回転し、調理することができます。

- スイッチの押しかたで調理の効果が異なります。

連続運転	一定時間スイッチを押したままにする調理方法。
フラッシュ運転	約1~2秒ごとにスイッチを操作して、入・切を交互に続ける。

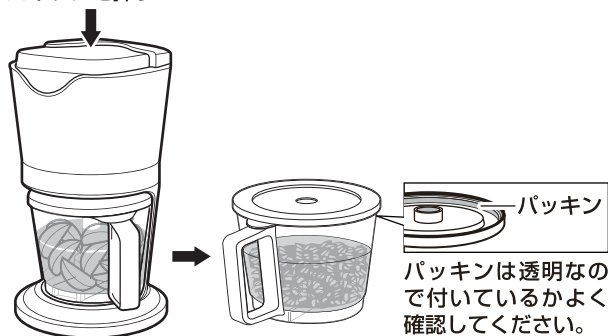
ブレードが回らないときやモーター音だけのときは

- クリアカップを取りはずして、食材が均等になるように振ったり、スプーンなどで食材の位置を変えてみてください。それでも回らない場合は、配合を変えてください。
- それでもブレードが回らないときは、食材の大きさや量を減らしたり配合を変えてください。

食材がもれてくるときは

- すぐに調理を中止してください。
- フタにパッキングが付いていることを確認してください。
- パッキングが付いていてももれる場合は、内容量を減らしてから調理を再開してください。

スイッチを押す



※わかりやすいように本体からクリアカップを取り出した状態のイラストを使用しています

食材の量は適切に

- 付属のレシピを参考に分量を入れてください。

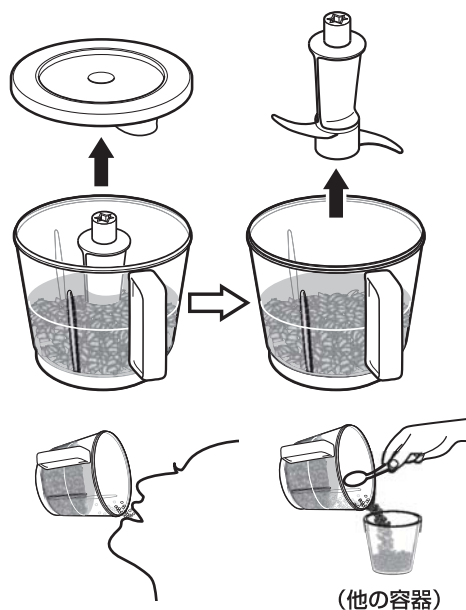
⚠️ 注意

- ブレードにはふれない。けがの原因になります。
- 調理するとき、大きな音がするので環境に気をつける。食材にもよりますが、調理するときには大きな音がしますので、まわりに十分配慮してください。

正しい使いかた（つづき）

9. 調理後のクリアカップからフタ、ブレードを取りはずす

ブレードの回転が止まったことを確認し、クリアカップを取り付けた逆の手順で取りはずします。フタ・ブレードも取りはずしません。フタ・ブレードも取りはずしてから、クリアカップで調理物をそのまま飲んでください。または、スプーンなどで調理したものを他の容器に移して飲んでください。続けて調理するときは、ブレードを洗い、「正しい使いかた」2からの方法に従って食材を入れてください。



⚠注意

調理後のブレードの扱いには十分注意する。調理されたものが付着している状態で安易に触れたりすると、けがの原因になります。クリアカップで調理物をそのまま飲むときは、ブレードを事前に取りはずしてください。けがの原因になります。

10. 調理が終了したら、電源プラグをコンセントから抜く

⚠警告

調理が終了したら、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

⚠注意

調理終了後、調理後のクリアカップからすみやかにフタ、ブレードを取り出してお手入れをする。そのままにしておくと、さびたり、こびりつきや臭いの原因になります。

クリアカップについて

クリアカップに調理物を入れたまま、保存することはできません。

- 必ず調理後はブレード・フタを取り出してください。
- クリアカップからすみやかに調理物を取り出し、お手入れをしてください。

⚠注意

クリアカップ・ブレード・フタは電子レンジ・冷蔵庫・冷凍庫に入れない。変色・変形・故障の原因となります。

お手入れと保存



お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、動きが止まっていることを確認する。
火災・感電・けがの原因になります。



- 本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。水洗いしない。
ショート・感電の原因になります。
- お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。
変色・変形・感電・故障の原因になります。
- 40°C以上のお湯で洗わない。食器洗淨乾燥器を使用しない。
変形・変色・破損の原因になります。

お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属たわしなどは絶対に使わないでください。
- 本体モーター部に水をかけて洗わないでください。(変色・変形・感電・故障の原因になります。)
- ブレードの扱いには十分気をつけてください。

お手入れする

本体をお手入れする

柔らかい布をぬるま湯か食器用中性洗剤に浸してかたくしぼった布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。

- 強くこすらないでください。傷がつくおそれがあります。

※電源コード付近を水にぬらさないでください。
感電・故障の原因になります。

※クリアカップ検知センサーを折らないように注意してください。

本体パッキンやすべりどめ

- 本体パッキン・すべりどめは、取りはずさないでください。取りはずすと再度取り付けることができないおそれがあります。
- シリコン樹脂でできた本体パッキンやすべりどめに人参や葉物などの色素がつくことがあります。完全に色素がとれないことがあります。が使用上問題ありません。

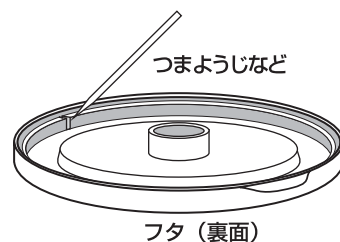
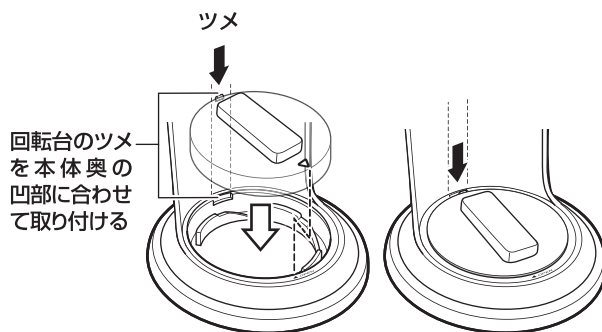
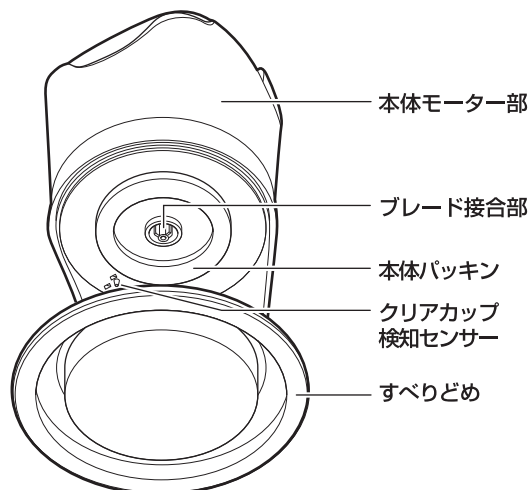
回転台

- 回転台を持ち上げると、回転台を取りはずすことができます(回転台、回転台の底部をお手入れします)。
- 取り付けるときは、回転台の手前の▽と本体の▲ OPENの印が揃うように取り付けてください。

フタをお手入れする

- フタのパッキンははずしてお手入れできます。つまようじなどでフタ裏面のみぞ部より、パッキンを破損しないよう注意してはずしてください。

また、フタを使用するときは必ずパッキンを装着してください。



お手入れと保存（つづき）

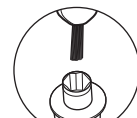
- やわらかいスポンジを使用し、水またはお湯で食器用洗剤を薄めたものを使って洗い、流水で十分にすすいでください。
- 汚れが落ちにくいときは、水またはお湯で食器用洗剤を薄めたものに浸し、10分程度経過してから洗うと効果的です。

クリアカップをお手入れする

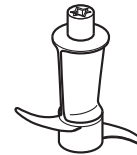
- やわらかいスポンジを使用し、水またはお湯で食器用洗剤を薄めたものを使って洗い、流水で十分にすすいでください。
 - 汚れが落ちにくいときは、水またはお湯で食器用洗剤を薄めたものに浸し、10分程度経過してから洗うと効果的です。
 - 色素の強い食材による着色汚れは、酸素系漂白剤を入れ、30分間（目安）つけ置きしてください（酸素系漂白剤の注意事項をよくお読みの上、正しくご使用ください）。
- ※ 塩素系漂白剤は使用しないでください。

ブレードをお手入れする

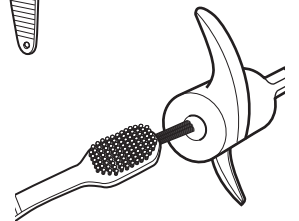
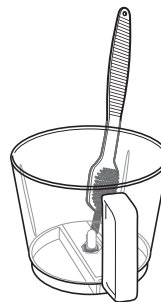
- ブレードと本体との接合部やクリアカップ側の接合部などはおそうじブラシを使い、特にきれいにしてください。
 - ブレードの刃の部分は直接ふれず、おそうじブラシでお手入れしてください。
 - 色素の強い食材による着色汚れは、酸素系漂白剤につけ置きしてください。（酸素系漂白剤の注意事項をよくお読みの上、正しくご使用ください。）
- ※ 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- 完全に乾燥させた上で、幼児の手の届かない、安全な場所に収納してください。



ブレードと本体の接合部



ブレードまわりやクリアカップの接合部など細かい部分などは付属のおそうじブラシを使用してお手入れをしてください。



注意

- ブレードをお手入れするときは、十分注意する。けがの原因となります。
- ブレードは完全に乾燥させる。乾燥が不十分だと刃がさびる原因となります。

保存のしかた

- お手入れのあと、完全に乾燥させてください。
- お買い上げの製品が入っていた箱に入れて、湿気のない場所に保存してください。
- ブレードは付属のブレードカバーに入れて保存してください。

修理・サービスを依頼する前に



警告 修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない（動作しない）	・電源プラグがコンセントに差し込まれていない、または完全に差し込まれていない	電源プラグをコンセントに確実に差し込む
	・長時間連続で使い続けている	安全装置がはたらいているため、電源プラグをコンセントからはずし30分以上おいてから使用してみる
	・クリアカップにフタを取り付けていない、またはしっかりと取り付けていない（クリアカップ検知センサーが働いている）	クリアカップにフタを取り付ける、またはしっかりと取り付ける
	・クリアカップを右に回転させて本体に密着させていない ・右に回転させたとき、回転を途中でやめていた	クリアカップを（動かなくなるまで）右に回転させて本体に密着させる
	・直前に数分間連続して使用していた（安全装置が働き運転を止めています）	30分以上休ませてから使用する
あふれる	・食材と液体の量がクリアカップのMAX線もしくはクリアカップを超えて入れている	食材の液体の量がクリアカップを超えない程度に減らす
	・フタのパッキンを取り付けていない、またはしっかりと取り付けていない	フタのパッキンを取り付ける、またはしっかりと取り付ける
ブレードが回らない	・クリアカップに入れている食材の量が多い、または固い食材を入れている	クリアカップを一度取り出し、量を減らすか振ってから取り付ける
異音がる	・不安定なところで使用している	安定した水平なところで使用する
	・固い食材を使用している	下ごしらえをしてやわらかくしておく
	・本体にクリアカップが正しく取り付けられていない	クリアカップに正しくフタを取り付けなおし、回転台にのせなおす
	・ブレードに食材がからまって切れが悪くなっている	からまっている食材をとりのぞく

付属レシピの「楽しくお使いいただくための注意」も合わせてお読みください。

長年ご使用の製品はよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはお客様相談室に点検をご相談ください。